



かわら版

最上小国川流水型ダム

平成31年3月号

第46号

平成31年3月28日発行

【発行元：前田・飛島・大場JV】



ごあいさつ

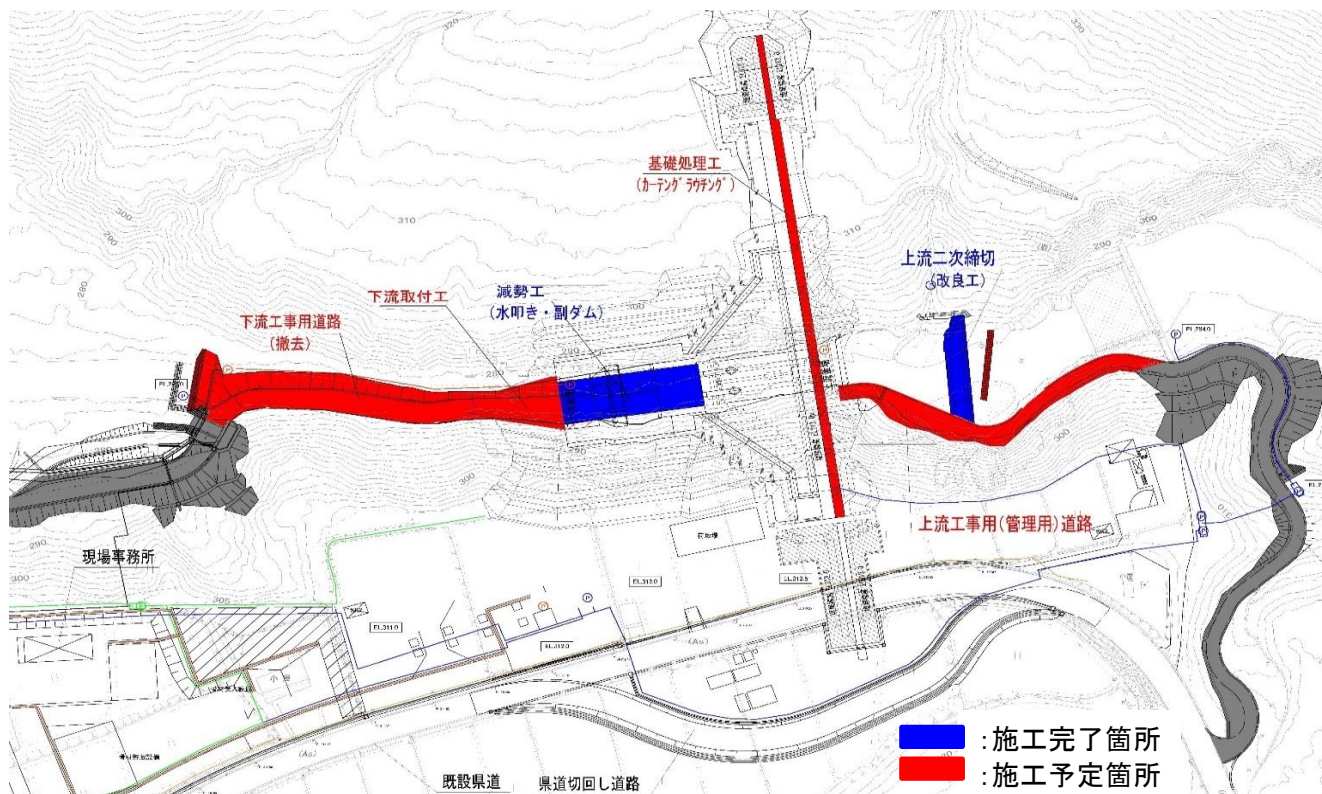
3月に入ると、雪が降る日も少なくなり、やっと寒さが和らいできました。雪解けが進み、春の気配を感じる季節ですが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。

日中は暖かい日が多くなりましたが、朝晩はまだ冷え込みます。年度末は何かと忙しい時期ですが、体調を崩されませんよう、お気を付けください。



ダムサイト下流側より望む(H31.3.25)

現在の施工箇所的位置図



工事進捗状況

冬期期間もダムサイト河床部で河道整備を進めてきました。上流側では上流2次仮締切の改良工事が完了し、現在、上流工事用(管理用)道路工の施工を行っています。下流側では減勢工の躯体工事が完成し、現在下流取付工の施工を行っています。ダム本体では基礎処理工の施工を行っています。また、上流の常用洪水吐呑口では放流設備工事でスクリーンの設置も始まります。これら全て完了しますと現在仮排水路トンネルへ切回している河川の流れをダム側へ戻す「堤内転流」を行うこととなります。



ダムサイト上流側(上流2次仮締切改良完了)



ダムサイト下流側(減勢工完了)

上流2次締切改良工

一般的なダムでは、工事中のダムサイトへの河川の流入を防止するために上流仮締切を設置します。当ダムにおいてもこの仮締切のおかげで施工を進めていくことができました。(豪雨による締切の越流も何度かありましたが・・・)

仮締切は工事完了と共に解体撤去するのが一般的ですが、最上小国川流水型ダムでは、この仮締切を利用して流木止めの堰堤とすることになっています。この堰堤で流木を止めることでダムの常用洪水吐きの流木によって詰まるリスクを少なくします。



発注者: 山形県最上総合支庁
施工者: 前田・飛島・大場JV
連絡先: 〒999-6105
山形県最上郡最上町大字富澤
字菅ノ平3780-1
TEL 0233-46-3430
FAX 0233-46-3431
ホームページ
<http://mogamiogunigawa-jv.jp/>

安全・品質・環境を優先した作業を行ってまいります。ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力、よろしくお願いいたします。ご意見、ご感想などがありましたら、気軽にお声を掛けてください。